

みずほCustomer Desk Report 2022/11/16号 (As of 2022/11/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	140.44
TKY 9:00AM	140.08	1.0321	144.63	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	140.61	1.0481	145.35	1.1748	0.6698
SYD-NY Low	137.67	1.0280	143.37	1.2026	0.6797
NY 5:00 PM	139.31	1.0351	144.01	1.1745	0.6686
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	33,592.92	56.22	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	11,358.41	162.19	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,991.73	34.48	米国2年債	4.3424%	▲0.0559%
日経平均	27,990.17	26.70	米国5年債	3.8991%	▲0.0951%
TOPIX	1,964.22	7.32	米国10年債	3.7761%	▲0.0860%
ソコ日経先物	27,995.00	40.00	独10年債	2.0955%	▲0.0620%
ロンドンFT	7,369.44	▲15.73	英10年債	3.2950%	▲0.0510%
DAX	14,378.51	65.21	豪10年債	3.7760%	0.0220%
ハンセン指数	18,343.12	723.41	USDJPY 1M Vol	13.77%	0.51%
上海総合	3,134.08	50.68	USDJPY 3M Vol	12.14%	0.14%
NY金	1,776.80	▲0.10	USDJPY 6M Vol	11.32%	0.08%
WTI	86.92	1.05	USDJPY 1M 25RR	▲0.71%	Yen Call Over
CRB指数	284.36	2.20	EURJPY 3M Vol	11.58%	0.06%
ドルインデックス	106.40	▲0.26	EURJPY 6M Vol	11.35%	0.02%

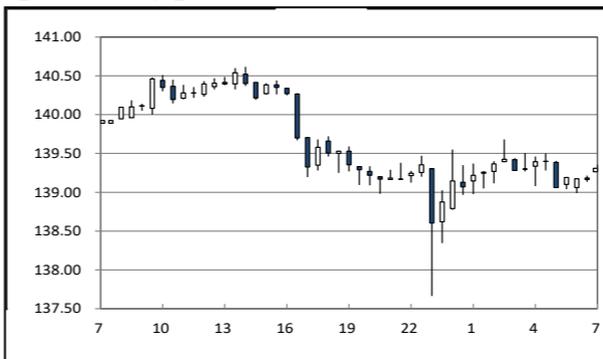
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月15日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	3Q -1.2%	1.2%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	3Q -0.3%	0.3%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	3Q -0.5%	-0.6%
	19:00	独 ZEW景気期待指数	11月 -36.7	-51.0
	19:00	独 ZEW調査現状指数	11月 -64.5	-69.3
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	3Q 0.2%/2.1%	0.2%/2.1%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	11月 4.5	-6.0
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	10月 0.2%/8.0%	0.4%/8.3%

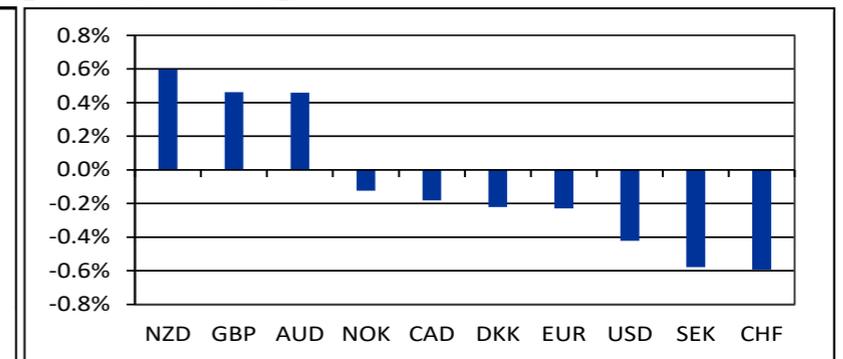
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月16日	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	10月 1.0%	0.0%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	10月 0.5%	0.1%
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	10月 0.1%	0.4%
	23:50	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.00-141.00	1.0250-1.0450	142.00-146.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はPPI予想比軟調で一時的に138円割れを示現も、すぐに切り返し行ってこの展開。東京時間日中は140円台半ばでの小幅推移となっていたものの、欧州時間に入ると金利低下とともにドル円もじり安に。その後、予想比軟調なPPIで大きく下げたものの、すぐに切り返して139円台での推移が続いた。本日のドル円は上値の重い展開を予想。PPI予想比軟調な結果で、CPIショック再来かと思われたものの、それまでにマーケットのポジションは解消されていたようで、ゲームチェンジャーにはならず。一方で、ロシアのミサイルがポーランドに着弾したとの報道もあり、リスクオフムードが漂う中ドル円は買われにくいだろう。

東京	東京時間のドル円は140.08レベルでオープン。仲値にかけては、5・10日に伴う実需のドル買いが強まり、ドル円は140.50近辺まで上昇。買い一巡後はドル売りが強まるも、オープン直後に付けた140.00手前では底堅く、米長期金利が持ち直す動きを横目に次第にドル買いが優勢となり、140.61まで上昇後140.35レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、140.35レベルでオープン。この日は再び全般にドル売りとなり、ドル円も138.98まで売られ139.26レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0334レベルでオープン。ドル売りの中で、独11月ZEW景況感が予想を下回る悪化にとどまったことから1.0437まで堅調に推移。1.0408レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では前日のブレイナート副議長の発言を受けたドル売りに138.98まで下落し、139.26レベルでNYオープン。朝方は11月NY連銀製造業景気指数が予想を上回ったものの、米10月PPIが先週末曜のCPIに続き予想を下回り、米利下げペース鈍化期待からドル売りが一気に持ち込まれ137.67まで下落する。しかしドルの売られ過ぎ感からその後は139.58まで戻す。午後に入るとロシアのミサイルがポーランドに落下し2人死亡とのヘッドラインを受けリスク回避の株安、債券高、原油高、ドル買い戻しが強まり、ドル円はドル買いが強まる一方、クロス円の売りに139.08まで下落する。しかし米国防相が確認できていないと発表したことや、ポーランドのレポーターがウクライナ軍によって撃ち落とされたロシアのロケットの残骸である可能性が高いと伝えたことや、ロシア軍も「ウクライナとポーランドの国境近くの標的に対する攻撃は、ロシアの武器によるものではない」と発表したこともあり、急速にクロス円が買い戻される一方、ドルが売られる動きにドル円は138.99まで下落し、139.31レベルでクロスした。一方、ユーロドルはドル売りが継続したことから1.0437まで戻し、1.0408レベルでNYオープン。朝方は、米PPI結果を受けたドル売りに1.0481まで上昇。しかしドルの売られ過ぎ感からPPI発表前よりも低いレベルである一旦1.0348まで下落する。午後は前述のロシアのミサイルのヘッドラインを受けたドル買いに一気に1.0280まで反落するが、追加情報からNATOを巻き込むような話ではないとの見方にユーロが1.0377まで買い戻される。終盤に掛けてはじり安で推移し、1.0351レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・西